

照明成長戦略

LIGHTING VISION

2030

～あかり文化の向上と地球環境への貢献～



Society5.0に対応する次世代照明

Lighting 5.0



Japan Lighting Manufacturers Association

一般社団法人 日本照明工業会

ビジョン

～あかり文化の向上と地球環境への貢献～

Society 5.0に対応する次世代照明“Lighting 5.0”[※]の普及を通じて
新しいあかり文化の創造と脱炭素社会への貢献を目指しながら
SDGs達成に向けた取り組みを拡大・加速してまいります

※“Lighting 5.0”はJLMAが提唱・定義する新時代のあかりの概念です。

“Lighting 5.0”とは、従来のあかるさを得るためだけの照明ではなく、「健康」「安全」「快適」「便利」な高付加価値な照明です。
「人を中心とした、さまざまなモノやコトとつながる、Society 5.0(ソサエティ 5.0)の社会に対応する次世代照明」を
JLMAは“Lighting 5.0”と定義します。

ミッション

我々は、地球環境に配慮したやさしい“あかり”の普及に努め、より安全で快適な生活環境を
実現するとともに地球環境の向上に努めます

照明業界の代弁者として、政府の成長戦略への取り組み、国内外のステークホルダーへの情報発信、
交流、交渉を通じて、公平で健全な照明市場を形成し、照明業界の発展に貢献します

目標 「2030年の姿」

Society 5.0に対応する次世代照明
Lighting 5.0[○]の普及・拡大で
構成比40%を目指す

温室効果ガス排出量
46%程度の削減に挑戦

(2013年度基準、電機・電子業界全体の中長期的な
取組・CNへの貢献の目安)

※CN: Carbon Neutral

消費電力量 60%削減

(2013年度基準、LED素子、器具、電源等の効率アップ
と照明制御設備の普及)

ロードマップ

1 “Connected Industries”による パラダイムシフトへの対応

- “Lighting 5.0”の普及のための事業環境整備
 - パラダイムシフトに対応した工業会組織改革
- ※Connected Industries: 様々な繋がりによって新たな付加価値の
創出や社会課題の解決をもたらすこと

2 あかりの質向上とSDGsへの貢献

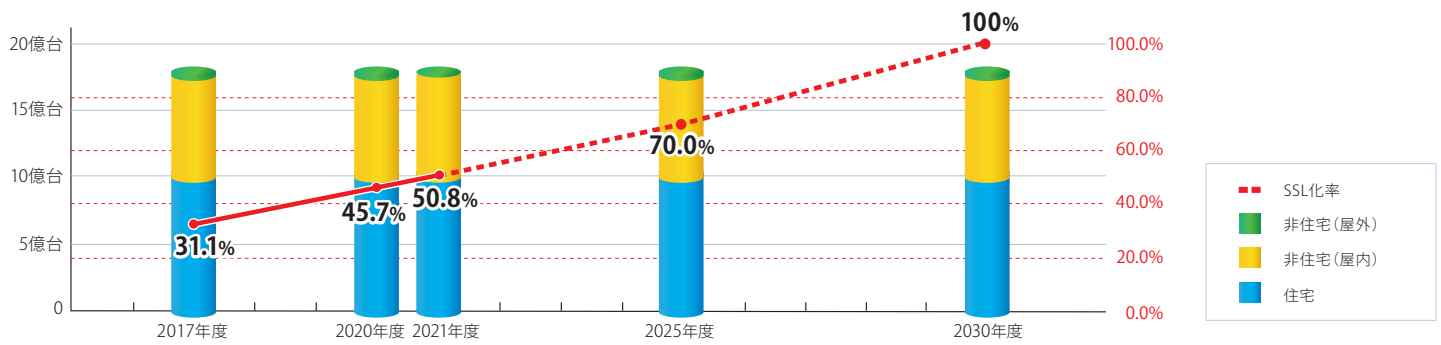
- スtock市場のSSL化加速による地球環境への貢献
 - “あかりの質向上”による新たな空間価値の創出・提案
 - “新たな空間価値の創出”を支える基盤技術の調査研究
- ※SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

3 グローバル化・ボーダーレス化への対応

- 海外市場展開の為の環境整備
- 日本照明のブランド化
- 公正で適正な競争ができる健全な市場の維持向上

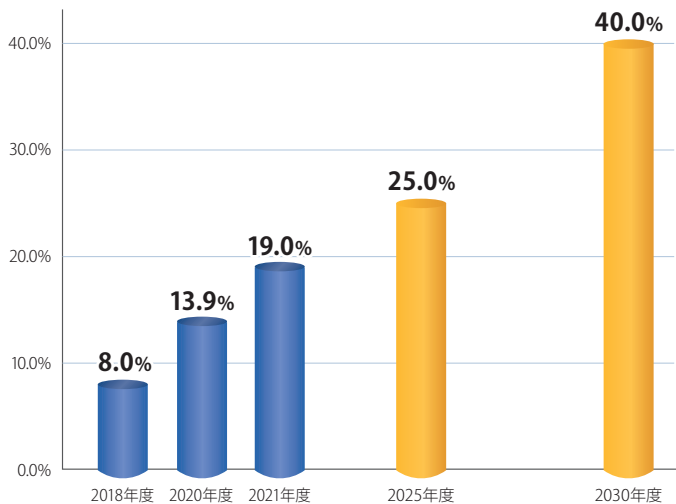
国内・海外 照明市場 動向と今後の課題

■2030年ストック市場100% (SSL器具占有率目標)



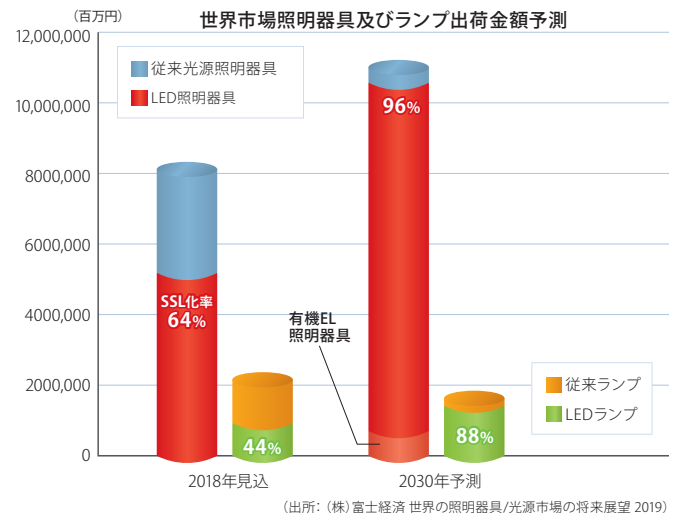
日本照明工業会では、国内照明器具のストック調査を行い2020年度の国内照明器具ストック数を、約**18.1億台**と推定しました。
住宅用として使用されているものが10.1億台、それ以外の事務所・店舗・学校などの非住宅の屋内で使用されているものは7.6億台、屋外が0.4億台と推定。
合わせてSSL化率の調査も行い、以下と推定しました。※SSL(Solid State Lighting);LED、有機EL、レーザーなどの半導体照明
2020年度のSSL化率は、45.7%【内訳は、住宅市場:47%、非住宅(屋内)市場:44%、非住宅(屋外)市場:56%】
2021年度のSSL化率は、50.8%【内訳は、住宅市場:52%、非住宅(屋内)市場:48%、非住宅(屋外)市場:61%】

■Society 5.0に対応する次世代照明“Lighting 5.0” 製品構成比の拡大



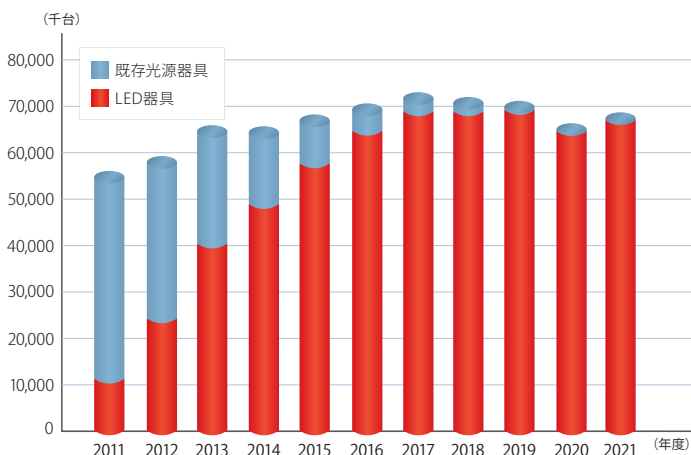
→ “Lighting 5.0”など高付加価値製品の普及拡大により、LED照明器具への
リニューアル促進及び新規ビジネスの創出

■世界市場動向と今後の課題



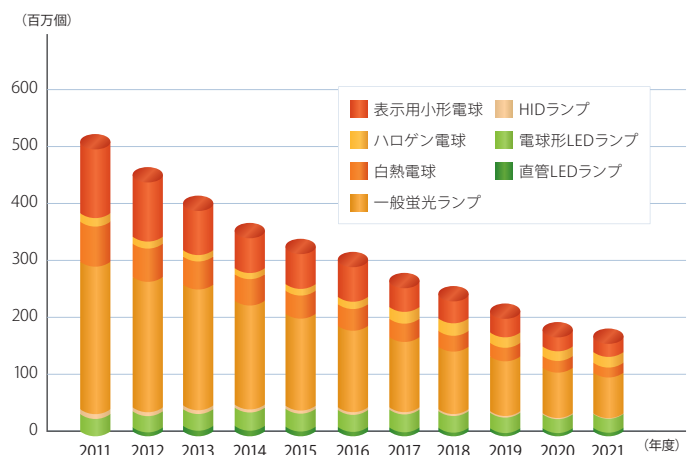
→拡大する新興国市場への参入支援加速
→海外高付加価値市場への参入機会発掘
→粗悪な輸入品を排除する市場監視
体制の強化

■照明器具出荷数量推移



→2020年新型コロナウイルス感染症拡大の影響で出荷は鈍化
既存光源用器具や初期のLED照明のリニューアル推進で拡大を図る

■光源類出荷数量推移



→ストックSSL化率が上昇することで蛍光ランプ等の既存光源は縮小
→新たな循環型ビジネスモデルの創造
→既存光源ビジネスのソフトランディング

1 “Connected Industries”によるパラダイムシフトへの対応

先進技術を活用した“Connected Industries”による様々なビジネスモデル、超スマート社会 (Society 5.0) への変化に対応する為、分野を超えた異業種との連携による標準化等、事業環境を整備するとともにそれに適応する工業会組織体制を強化する。

1. “Lighting 5.0”普及のための事業環境整備

1-1-1. “Lighting 5.0”に関する標準化推進

1-1-2. IoT、AI、ビッグデータを核とした分野・業種を超えた連携強化

2. パラダイムシフトに対応した工業会組織改革

1-2-1. 異業種からの新規入会促進

1-2-2. “Lighting 5.0”に対応した委員会・事務局組織体制構築

2 あかりの質向上とSDGsへの貢献

2050年CN、2030年温室効果ガス46%削減(2013年比)という国際公約達成の為、政府目標でもある2030年までに照明器具ストック市場におけるSSL化率100%を目指す。

“Lighting 5.0”の普及を通じて、新たな機能の創出、あかりの質向上により通じて、Society 5.0に対応した新たな空間価値を創造する

1. スtock市場のSSL化加速による地球環境への貢献

2-1-1. スtock市場のSSL化率推移の見える化推進

2-1-2. 取替えリニューアル活動の推進(市場分野別のリニューアル促進活動)

2. “あかりの質向上”による新たな空間価値の創出・提案

2-2-1. “Lighting 5.0”の普及による高付加価値製品の構成比拡大

2-2-2. 強靱で持続可能なまちづくりへの貢献(エリア防災照明)

3. “新たな空間価値の創出”を支える基盤技術の調査研究

2-3-1. より良い光環境・照明環境の実現に向けた調査研究(CIE活動)

2-3-2. 照明システムに関する調査(スマートシティ、HEMSなどとの連携、新光源)

3 グローバル化・ボーダーレス化への対応

国内照明器具の出荷数量は、人口減少、新設住宅着工件数の減少に伴い、新設物件での照明器具の出荷数量は減少が予想される。

一方、主に新興国での人口増加と中産階級の拡大に伴い、世界照明市場は拡大する。2030年には世界経済の中心となる広域アジアをメインターゲットとした市場参入と事業拡大のための環境整備と日本照明製品のPRを行う。

LED製品普及による製品のグローバル化、ボーダーレス化による日本市場にマッチしない輸入海外製品の増加に対する市場監視体制の強化を行う。

1. 海外市場展開の為の環境整備

3-1-1. 各国政府、産業界との国際交流と情報収集

3-1-2. 国際的な環境課題や貿易問題についての業界対応

2. 日本照明のブランド化

3-2-1. 海外展示会参加による情報収集と日本照明PR

3-2-2. イベント&ビジネスマッチング活動推進

3. 公正で適正な競争ができる健全な市場の維持向上

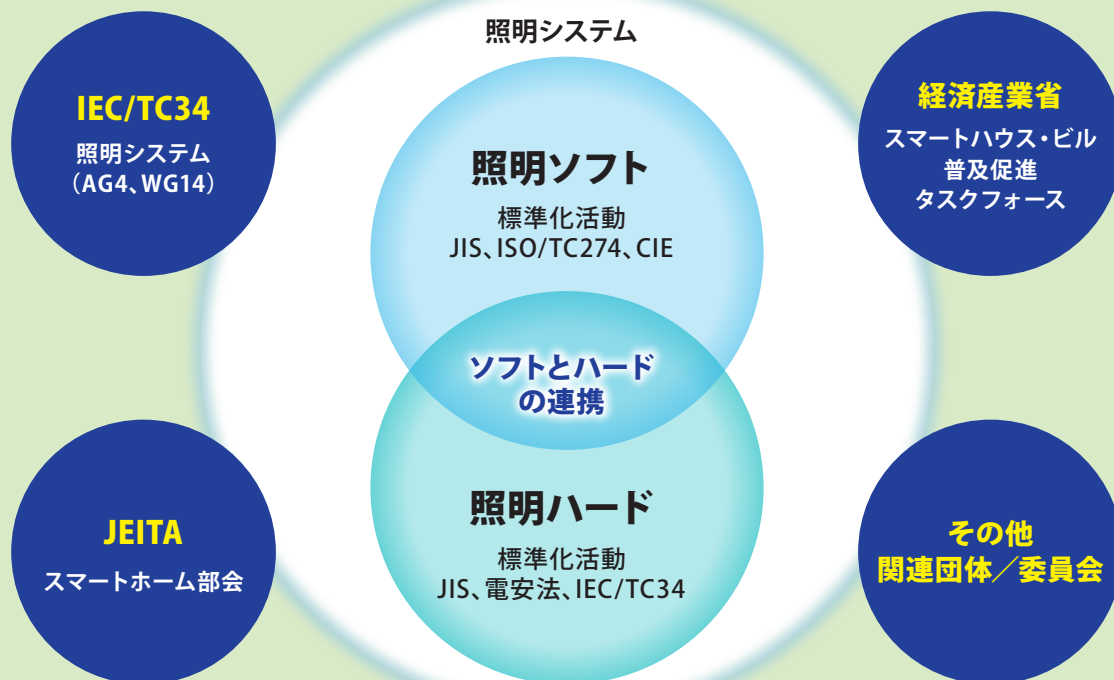
3-3-1. 試買調査など市場監視体制の強化

3-3-2. 測光試験所に対する技術支援、標準化活動の推進

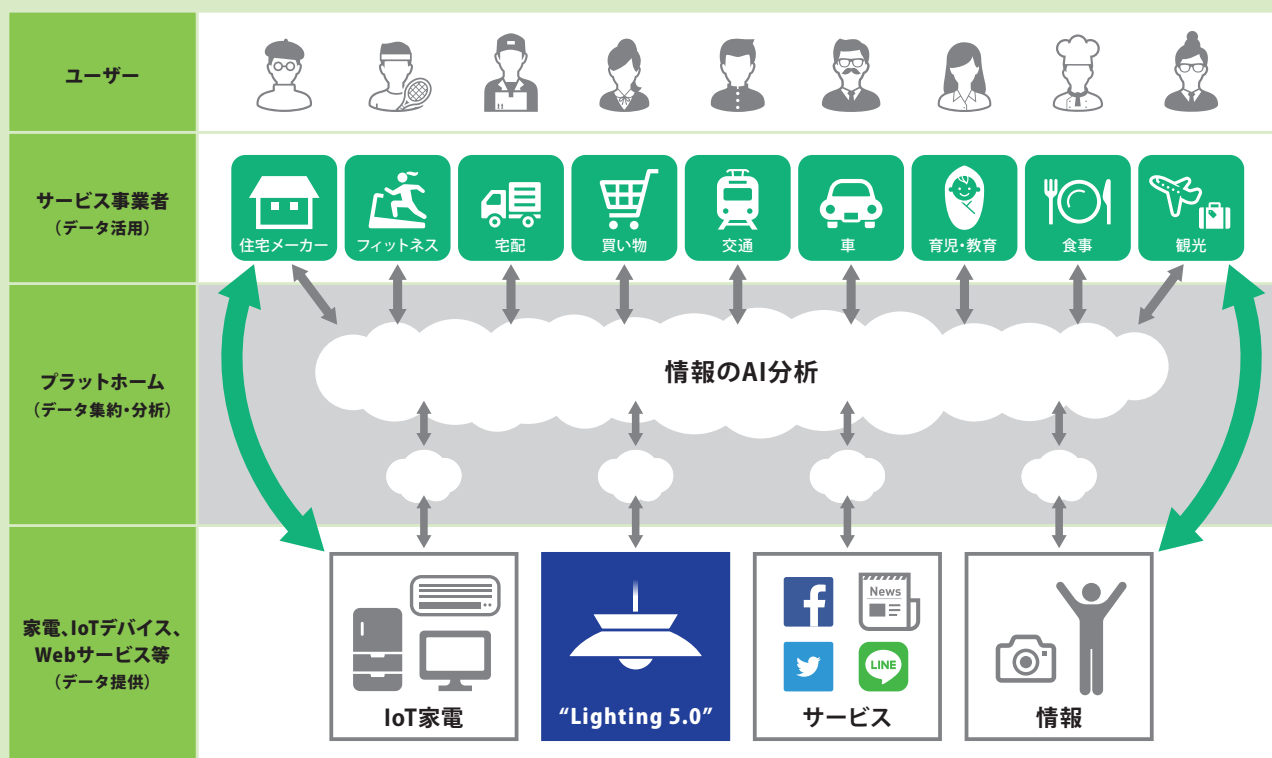
1 “Connected Industries”によるパラダイムシフトへの対応

■Society 5.0 に対応する次世代照明“Lighting 5.0”に関わる標準化推進

IoT、AI、Cloud等先進技術活用による拡張システム化



■IoT、AI、ビッグデータを核とした分野・業種を超えた連携強化



出所：経済産業省「スマートライフ政策(平成30年2月)」の資料をもとに作成

2 あかりの質向上とSDGsへの貢献

■Society 5.0について（政府が掲げる我が国が目指す社会）

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会



■Society 5.0に対応したあかりの質向上と空間価値創造

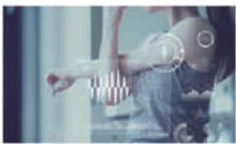
Society 5.0 に対応した次世代照明 Lighting 5.0

分野や業種を超えた、様々なモノ、コトにつながることで、多様な環境やライフスタイルに合わせた快適な生活を創造する、人にやさしい、安全・安心・便利で質の高い、高性能なあかりのこと。

“Lighting 5.0”における1.0～4.0の考え方

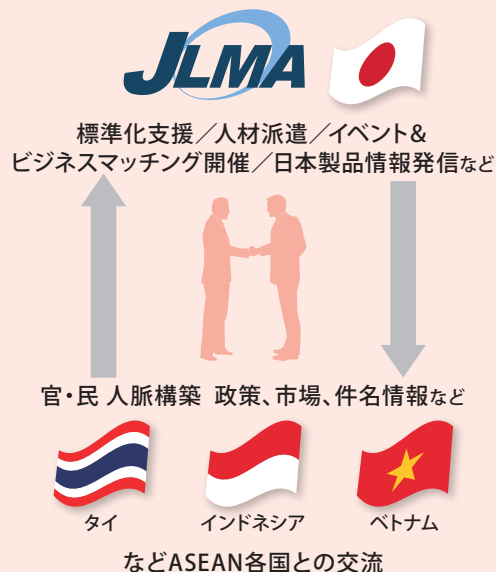
1.0を人類が手にした最初のあかり（たいまつやろうそく、油、ガス灯などの炎）、2.0をエジソンの白熱電球、3.0を放電灯、4.0をLED照明、そして、1.0から4.0の光源進化から、様々なモノやコトにつながる Society 5.0 に対応し進化した“人を中心としたSociety 5.0”に対応する次世代照明を“Lighting 5.0”として定義しました。

“Lighting 5.0”がもたらす4つの価値

Wellness	Safety & Security	Comfort	Convenience
健康	安全	快適	便利
			
生体機能を維持・向上させるあかり 高齢者に寄り添い助けるあかり 良い睡眠をつかさどるあかり	停電時に自動点灯して支えるあかり 遠くの家族を見守るあかり 災害を検知して知らせるあかり	生活シーンに併せて変化し、彩るあかり 自然光を感じさせるあかり スピーカーやプロジェクタなどの機能を持つあかり	人を検知し、非接触でON/OFFするあかり 周辺のあかりを検知し、自動調光するあかり スケジュールに連動するあかり

3 グローバル化・ボーダーレス化への対応

■各国政府・産業界との国際交流と情報収集

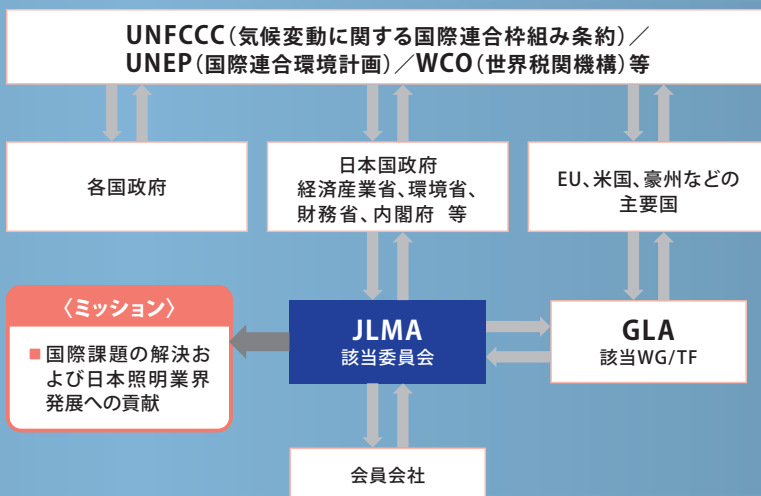


■日本照明のブランド化とビジネスマッチング活動

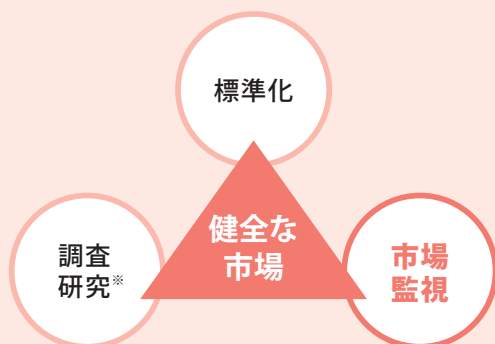
海外展示会でのジャパン・パビリオン



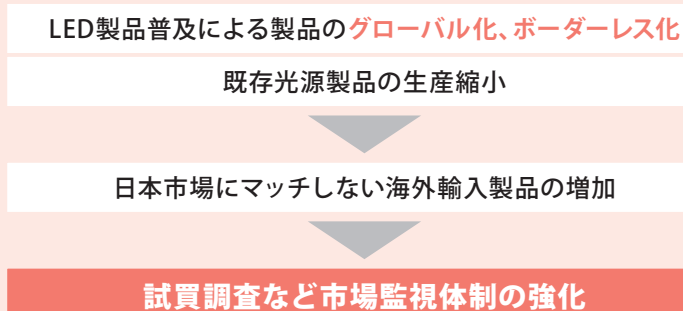
■国際的な環境課題や貿易問題についての業界対応



■公正で適正な競争ができる健全な市場の維持



※照明・視覚関連の評価法の調査研究



Society5.0に対応する
次世代照明



概要

一般社団法人日本照明工業会（JLMA）は、照明機器（光源類、照明器具類、制御装置類及びこれらの構成部品）の製造及びこれに関連する事業の健全な発展、産業の振興、並びに国民生活における安全性の確保と生活文化の向上に寄与することを目的とし、主に普及活動・標準化活動、認証事業、国際活動を推進しています。

主な活動

普及活動	標準化活動	認証事業	国際活動
■ 広報活動 ■ 情報発信 ■ 統計調査 ■ 関連機関との協力	■ 国内規格対応 ■ 海外規格対応 ■ 工業会規格の 制定・改定	■ 誘導灯認定 ■ 非常灯自主評定 ■ (S形) 埋込み形 照明器具自主評定 ■ 公共施設用照明器具 の承認	■ 国際交流支援 ■ 国際標準化支援 ■ グローバル照明協会 (GLA) 活動推進

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目11番4号 三井住友銀行御徒町ビル8階 TEL.03-6803-0501 FAX.03-6803-0064
<https://www.jlma.or.jp>



Japan Lighting Manufacturers Association
一般社団法人 日本照明工業会

2019年3月制定
2022年3月更新
2022年10月改定
JLMA P2035a